

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都市
取組市町村名 取組団体・企業名	京都市役所文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課
取組の名称	“京都をつなぐ無形文化遺産”「京の食文化」朝ごはん料理教室の開催について
実施時期	①平成 30 年 7 月 28 日（土） ②平成 30 年 9 月 8 日（土）
取組内容	京都市では、市独自の文化財保護制度である京都をつなぐ無形文化遺産”として選定した「京の食文化」、また、ユネスコ無形文化遺産として登録された「和食」を次の世代に伝えていくため、京都料理組合の御協力をいただき、米飯を中心とする「朝ごはん」をテーマとした料理教室を開催しています。 対 象 者：京都市内在住の方（小学生 4 年生以上） 参加人数：①60 名 ②60 名 

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都市
取組市町村名 取組団体・企業名	京都市伏見区役所保健福祉センター
取組の名称	「わくわくキッズクッキング ～簡単！美味しい！私・僕にも作れるお昼ごはん～」with「はじめよう理想のからだづくり講座」
実施時期	平成 30 年 7 月 31 日（火）
取組内容	1 目的 子どもとその保護者を対象に、同日同所で、別々の健康教室をすることで、忙しい子育て世代の保護者にも、健康的な生活習慣について学ぶ機会をつくります。子どもは、講話や調理実習をとおして、包丁の使い方、切り方、調理方法を学び、栄養バランスの良い食事について知ります。 2 場所 京都市伏見区役所保健福祉センター 栄養指導室 及び 講堂 3 参加者 京都市伏見区在住の小学 5、6 年生（5 人）とその保護者（4 人） 4 内容 ○子どもは、栄養指導室にて、講話「たべもののおはなし～和食について～」（講師 伏見区役所管理栄養士）を聞き、だしや乾物、野菜、調味料などについて学びました。調理実習では、保護者の食事と一緒に学びました。食育指導員（ボランティア）や京都光華女子大学実習生の補助の元、安全に実施できました。 ○保護者は、講堂にて、骨密度測定、血管年齢測定、からだ年齢測定をとおして、自身の体の状態を把握しました。また、がん予防の講話（講師 伏見区役所保健師）、家でもできる運動実技（講師 インストラクター）を受け、健康に気をつけて周囲の人々にも伝えたいという感想がありました。休憩中に子どもの調理実習の様子を見学しました。 ○試食では、「とてもおいしい」「家では、いりこでだしをとることがない」等の感想が口々に聞かれました。ピーマンが苦手な子どもも、実習生に促され、一口食べていました。



【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都市
取組市町村名 取組団体・企業名	京都市保健所、京都市内大学・短期大学、大学生協
取組の名称	「そうだ、野菜とろう！キャンペーン」の実施
実施時期	平成 30 年 10 月
取組内容	1 目的 学生にとって身近な場所である学生食堂において、野菜摂取が気軽にできる環境づくりを行い、食生活に課題の多いとされる若い世代の野菜摂取量を増加へつなげることを目的に実施しました。 2 実施場所 京都市内大学・短期大学等（17 団体 22 校） 3 実施内容 (1) キャンペーン用の啓発物品を校内に掲示・設置  (2) 各大学による学生が野菜を気軽に食べられる環境づくり（13 団体 17 校）    (3) 学校内で、健康チェックや食事相談等のイベントの実施（4 団体 7 校）   ※ 各取組の様子は、「健康長寿のまち・京都」の公式 instagram や facebook に掲載しています。 (instagram) https://www.instagram.com/kenkochojukyoto/ (facebook) https://ja-jp.facebook.com/kyotokenkochoju/  健康長寿のまち・京都

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都府京都市
取組市町村名 取組団体・企業名	京都市役所環境政策局循環型社会推進部ごみ減量推進課
取組の名称	食品ロス削減全国大会 in 京都
実施時期	平成 30 年 10 月 29、30 日（月、火）（ブース出展、パネル展示） 30 日（火）（食品ロス削減全国大会 in 京都）
取組内容	1 目的 京都に息づく優れた生活文化、食文化を広く発信し、市民・事業者の皆様の「食品ロス削減」への理解と実践の輪を広げ、ひいては全国的な機運の醸成を図ることを目的として平成30年10月30日に、市民・食品関係事業者の皆様、国内外の大学等の研究機関、学生、そして、環境省をはじめとした関係省庁や食品ロスに先進的に取り組む全国の自治体が一堂に会し、「食品ロス削減全国大会 in 京都」を開催しました。 また、食品ロス削減に関するブース出展及びパネル展示を、京都大学主催の国際シンポと同時開催しました。 2 場所 京都大学百周年時計台記念館 大ホール、国際交流ホール 3 参加者 521名（市民256名、自治体等204名、報道関係者16名、大学関係者等45名） 4 内容 （1）基調講演「京の食文化の継承・発展」 （講師 瓢亭第14代主人 高橋 英一氏） 「京の食文化の継承・発展」をテーマに国の「現代の名工」を受章するなど、日本料理界の第一人者である瓢亭第 14 代主人 高橋 英一氏に京の食文化における「だし」や「塩」の重要性、料理をおいしくするための「ひと手間」が大切である等の御講演をいただき、観客からも賛同の声が挙がっていました。 （2）セッション コーディネーター：酒井伸一氏（中央環境審議会循環型社会部会長、京都市廃棄物減量等推進審議会会長、京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター長） 主なパネリスト：崎田裕子氏（中央環境審議会循環型社会部会委員、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会資源管理ワーキンググループ座長、ジャーナリスト・環境カウンセラー） 高月紘氏（京都大学名誉教授、京エコロジーセンター館長、京都市ごみ減量推進会議会長）

山川肇氏（京都府立大学生命環境科学研究科環境科学専攻教授）

浅利美鈴氏（京都大学地球環境学堂准教授）

斎藤敬氏（日本チェーンストア協会関西支部参与）

中村朱美氏（株式会社minitts 代表取締役（佰食屋オーナー））

産学公の各パネリストが登壇し、食品ロス削減に係る取組事例の発表や意見交換を行いました。

（３）京都アピールの発表

基調講演及びセッションでの意見も踏まえ、「持続可能な社会の実現に向けた食品ロス削減・京都アピール」（以下「京都アピール」という。）を発表し、参加者一同の拍手で御賛同いただきました。

（４）ブース出展・パネル展示

食品ロス削減に関するブース出展及びパネル展示を、京都大学主催の国際シンポと同時開催しました。



【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	京都市
取組市町村名 取組団体・企業名	南区役所保健福祉センター
取組の名称	『京野菜×京都肉マルシェ』における野菜摂取の啓発
実施時期	平成 30 年 11 月 25 日（日）
取組内容	1 目的 南区役所地域力推進室まちづくり推進担当が主催するイベントにおいて、来場者を対象にブース形式で野菜の計量体験をしてもらうことによって、1 食分の野菜摂取量の目安を知ってもらうとともに、野菜摂取の必要性について啓発を行います。 2 場所 イオン洛南ショッピングセンター 平面駐車場 3 参加者 240 名（0～19 歳：57 名、20～39 歳：46 名、40～59 歳：64 名、60 歳以上：73 名） 4 内容 ○参加者に 100g と思う分量だけカット野菜を皿に取ってもらい、実際に計量して 1 食あたりの野菜摂取量の目安（120g）のイメージを持ってもらいました。また、1 日の野菜摂取量や野菜を摂る工夫について助言しました。 ○計量結果に応じて景品を進呈したり、計量結果を年代別に色分けしたシールで模造紙に掲示することで、ゲーム感覚で楽しんで参加してもらうことができました。家族連れの来場も多く、親子で挑戦したりきょうだいで競い合ったりと、楽しみながら体験される姿が印象的でした。 ○参加者からは「100g ってこんなに多いのね」「普段こんなに食べていない」といった感想が多く聞かれましたが、「加熱したら食べられそう」「野菜をとるよう気をつけたい」と話される方もあり、野菜摂取について関心が高まった様子が伺えました。

